

♡ことばの力 ♡からだの力 ♡こころの力
城南学園幼稚園 園長 太田友子

園長室だより

平成26年9月10日



「見える幼稚園」をめざして

「見えている」

でしょうか？！

9月5日（金）、入園説明会を実施しました。その中に在園児の保護者の方もおられました。

幼稚園からは、「城南学園幼稚園で大切にしていること」について、スナップ写真などを使いながら説明しました。



終了後に、「今、上の子を通わせているものの、幼稚園のことがあまりよくわからなかったけれど、今日のお話ですごくよく分かりました。」という感想をいただきました。

本園は、保護者の皆様に「見える幼稚園」をめざしています。というのも、正しく知っていただくことから、ご理解やご協力が得られると考えているからです。「よく分からない」から「不安」が生じます。やがては「不満」、「不信」へとつながっていきがちです。そこで、本年度から、スナップ写真の掲示や園長室だよりの発行、facebook、HPの投稿などを行いながら情報発信に努めています。でも、まだまだなのです。これからも保護者の皆様から「安心」「信頼」していただけるような幼稚園をめざしてまいります。

ところで、「こんなことを言ったらクレマーと思われるかしら？」という声もあるようですが、そんなことは全くありません。

本園は、お声を伝えていただくことからよりよい「関係」づくりが始まると考えています。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

奥が深いのです。幼児教育って。



「遊び」から「学び」って いうけれど？

子どもは「遊び」の天才って
いうけれど、生まれながらに遊べるのではない
そうです。大人に遊ばれる経験を通して「遊び」
ができるようになるのです。

でも、「遊び」ってそんなに大事なのでしょうか？年少組は自分の好きな「遊び」を選ぶことができることをねらいとしています。「自分が」がポイントです。中には選べない、見つけれない子どももいます。保育者が誘うなかで、その力を伸ばしていきます。年中組になると、ルールの必要な遊びへと進みます。その中で、言葉の意味を理解したり、友だちと交替したりする社会性が育っていきます。年長組になると遊びに工夫が出てきます。自分たちで変化させていくのです。こだわりの遊びをつくりあげていきます。

すごいですね。この遊びのプロセスで、自分で考える、チャレンジする、想像する、人と協力することなど、一生に通じる知性、情緒、社会性を獲得していくのです。

本園の教育方針「小学校につながる学びの基礎を培う」とは、小学校の学習をそのまま早く取り入れるということではなく、一生を通じてこの幼児期にしか経験できないことをしっかりできるようにすることを意味しています。

「夢中になる」「何度もチャレンジする」活動を大切にしていきたいと思ひます。そして、気がつけば、いつも側には、温かく見守る保育者が「いい位置」にいる。そんな幼稚園でありたいと…。日々指導力の向上に努める毎日です。